

いのうただたかきねんかん 伊能忠敬記念館だより

No.21



忠敬の親友、久保木清淵



伊能忠敬の地図作りには高橋至時先生や弟子たちの存在が有名ですが、忠敬が佐原にいたころから一番たよりにしたのは、久保木清淵（1762～1829）です。清淵は、津宮村（香取市津宮）の名主をつとめながら、儒学や国学の学者としても知られた人です。通称は太郎右衛門、他に蟠龍・仲黙・竹窓など、さまざまな名前を使っています。

「息耕堂」という塾を開いたり、水戸藩がつくった延方郷校（茨城県潮来市）の講師をしたり、地域の教育にとっても熱心でした。

書道にも優れ、船戸区（香取市佐原）の山車の額に清淵の文字をみるができます。また、御用旗（右の写真）、伊能図の細かい文字、伊能忠敬の肖像画の上部分にそえられた画賛、「大日本沿海輿地全図」とともに提出した「大日本沿海実測録」の序文も清淵によるものです。



清淵は忠敬より 17歳年下でしたが、忠敬にとって学問の先生であり、となり村の名主仲間であり、一緒に旅行をする友人であり、地図作りの協力者でもありました。

忠敬生誕280年にあたる今年の特別展「友トシテ善シー忠敬と清淵」（令和7年11月18日～令和8年1月18日開催）では、ふたりの交流と清淵が書いた本や書などを紹介します。

参加費
無料

夏休み
体験教室

忠敬の地図作りに
プチ・チャレ！

8/11 祝日
12 火
13 水



身近な道具を使って忠敬と同じように
測量して地図作りにちょこっと挑戦！

対象
定員

小学4年生～中学生
各回10人
（申込多数の場合は抽選）

時間

10:00～
（1時間半程度）

申込
方法

メールでの申込み
（7月23日まで）



※香取市内の小・中・高校生は無料で入館できます。

【お問合せ先】 ☎ 0478-54-1118

「忠敬クイズ」に挑戦！

A. 「儒学」とは儒教の理想について書物を通して研究する学問。

そのもとになったのは、古代中国の誰の教え？

- ①孔子 ②子牛 ③コーチ

B. 船戸区の山車の額に書かれた「蒸衍」とは、どんな意味？

- ①たすける ②湯気があがる ③たのしませる

C. 江戸から東海道の出入口に設けられていた「高輪大木戸」に

ちなんだ駅名は？

- ①夢洲駅 ②高輪ゲートウェイ駅
③リゾートゲートウェイ・ステーション駅



【船戸区の山車】清淵の字は黒地に金色で刻まれています

伊能忠敬物語(21)

文化11年(1814)6月、これまで住んでいた家ではせまいので、忠敬は深川黒江町(江東区門前仲町)から八丁堀亀島町(中央区日本橋茅場町)へ引っ越しました。広さは150坪(教室8つ分くらい)で、ここを地図御用所として2回にわたった九州測量の地図を作り始めました。

それと並行して2つの測量計画が立てられていました。忠敬の日記をみると、7月15日に高橋景保(至時先生の長男・測量事業の監督)の家で「伊豆国測量之儀」を相談して決め、11月21日には「江戸測量の儀」について日数や開始地点など、いろいろ話し合ったようです。

次の年、2月3日から19日まで4人の測量隊員とともに江戸の町を測量しました。初日は高輪大木戸から日本橋まで測りました。11日には日本橋から地図御用所の「象限儀柱に繫」いで、前に住んでいた黒江町の「象限儀旧跡に繫ぎ」ました。最終日の洲崎弁天までの海辺は第2



次測量でも測った場所で、午前中で終わりました。

忠敬と景保は、以前に測量した東日本もくわしく測り直したいと考えましたが、幕府には認めてもらえず、代わりに江戸市中の地図を作るよう命じられました。

伊能忠敬記念館だより No.21

発行日 令和7年6月17日

発行者 伊能忠敬記念館 〒287-0003 香取市佐原イ 1722-1

電話 0478-54-1118 FAX 0478-54-3649



A. ① B. ③ C. ②
【忠敬クイズの答え】

